

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営(初級Ⅱ)】

受託団体名 NPO 法人国際支援地球村

1 事業の趣旨・目的

日常生活で困らない程度の基本的な日本語を学習し、また日本文化や地域の方言や習慣を理解することで、家族や地域住民とのコミュニケーション能力を高め、早く地域に馴染めるようにする。日本語に自信をつけた学習者が地域のボランティア活動やイベントに積極的に参加し多文化共生につなげる。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
H24 年 3 月 23 日	ハヨンコリア 蛇田教室	斉藤美和子 木村正樹 李 東勲 梶原 美佳	日本語教室終了報告	実施内容の報告 ・事業の成果と反省 ・運営費報告 ・質疑応答、意見交換

【写真】



3 日本語教室の開催について

- ① 講座名 パワフル日本語教室(初級Ⅱ)
- ② 開催場所 (株)ハヨンコリア蛇田教室
- ③ 学習目標 日本語を習得して家族や地域とのコミュニケーション能力を高める。
日本の文化、習慣を理解し、早く地域に馴染めるようにする。
- ④ 使用した教材・リソース みんなの日本語初級Ⅰ、みんなの日本語初級Ⅰ 絵カード、にほんご 90 日 1,2,3、市報、宮城県だより、講師オリジナル教材
- ⑤ 受講者の募集方法

・チラシ《市役所市民ホール、石巻市内スーパーマーケット、石巻市内応急仮設集会所、東松島市応急仮設集会所、民間スポーツジム》

・電話連絡《つながりのある市内および近隣自治体在住の定住外国人に直接連絡》

・口コミ

・ラジオ放送《地元ラジオ放送局・ラジオいしのまきの番組で多言語放送》

⑥ 受講者の総数 12 人 (延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

(出身・国籍別内訳 韓国 8 名 中国 2 名 ブラジル 1 名 台湾 1 名)

⑦ 開催時間数(回数) 60 時間 (全 30 回)

⑧ 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
①	平成 23 年 10 月 14 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	7 人	韓国・韓国語(3 人) 中国・中国語(2 人) ブラジル・ポルトガル語(1 人) 台湾・中国語(1 人)	教授者 3 人	●初級、中級に分けるため、各自の読み書きレベルチェックと、どんな日本語(例・生活の言葉・仕事の言葉)を学びたいか希望を聞きクラス分け。 ●自己紹介
②	平成 23 年 10 月 18 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	7 人	韓国・韓国語(3 人) 中国・中国語(2 人) ブラジル・ポルトガル語(1 人) 台湾・中国語(1 人)	教授者 3 人	●身の回りの事物の様子を言えるよう、い形容詞な形容詞を学習。イラストにより導入、作り方のルールを説明口頭練習。生活の中でい・な形を使用する頻度は高いが、い形な形を混同して使用している場合も多いため、ルールを正しく理解させ、定着させる練習を行う。 ●震災の情報の難しい日本語をわかりやすく説明と情報提供(別紙・被災者生活再建支援制度について※中国語、韓国語にて翻訳)
③	平成 23 年 10 月 21 日	2 時間	6 人	韓国・韓国語(2 人) 中国・中国語(2 人)	教授者 3 人	●好き嫌い、上手下手の表現を学ぶ 《～は～が好き/嫌いです》の例を

	10 : 00 ~ 12 : 00			ブラジル・ポルトガル語(1人) 台湾・中国語(1人)		示し、意味と使い方の導入、形、文の練習。《～は～が上手/下手です》も同様。 ●震災の情報の難しい日本語をわかりやすく説明情報提供(別紙・生活復興支援資金について※中国語、韓国語にて翻訳)
④	平成 23 年 10 月 25 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	8 人	韓国・韓国語(4人) 中国・中国語(2人) ブラジル・ポルトガル語(1人) 台湾・中国語(1人)	教授者 3 人	●「～から」を使っの理由の表現の学習・文例を示し、意味の導入と形の練習、文の練習をする。タスク《二人ペアで「～から」を使用し日常でよく使う誘う誘われるの場面設定で、承諾する際の言い方、断る際の表現の会話練習》 ●震災の情報の難しい日本語をわかりやすく説明情報提供を(別紙・節水の協力をお願い※中国語、韓国語にて翻訳)
⑤	平成 23 年 10 月 28 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	7 人	韓国・韓国語(5人) 中国・中国語(1人) ブラジル・ポルトガル語(0人) 台湾・中国語(1人)	教授者 3 人	●自分の国や町や今住んでいる環境について話す《～に～がいます/あります》実物を用意したり身体を使ったりして位置関係を理解させ、「あります」「います」を理解させる。形の練習、文の練習。タスク《～に～がいます/ありますを使用して自分の国や町や現在住んでいる環境について書きの学習と発表》 ●震災の情報の難しい日本語をわかりやすく説明情報提供(別紙・震災関連の悪質商法に注意※中国語、韓国語にて翻訳)
⑥	平成 23 年 11 月 4 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	9 人	韓国・韓国語(6人) 中国・中国語(2人) ブラジル・ポルトガル語(0人)	教授者 3 人	●人や物の所在を言う 前回学習した存在文を人や物を「は」で取り立てることで文型が変わることを示す。日常生活の場面を

				台湾・中国語(1人)		想定して会話練習をさせ、定着させる。タスク《買い物の場面で自分の欲しい物の場所を尋ねる》 ●震災の情報の難しい日本語をわかりやすく説明情報提供(別紙・母子家庭等就職セミナーのお知らせ ※中国語、韓国語にて翻訳)
⑦	平成23年 11月8日 10:00～ 12:00	2時間	9人	韓国・韓国語(8人) 中国・中国語(0人) ブラジル・ポルトガル語(0人) 台湾・中国語(1人)	教授者 3人	●物の数え方、数量の言い方・1 カレンダーを使って「日、～週間、～か月、～年」などの言い方、数量、人数、時間などの言い方をレアリアや絵カードによって学習。 ●震災の情報の難しい日本語をわかりやすく説明情報提供(別紙・東北文化市について※中国語、韓国語にて翻訳)
⑧	平成23年 11月11日 10:00～ 12:00	2時間	9人	韓国・韓国語(8人) 中国・中国語(0人) ブラジル・ポルトガル語(0人) 台湾・中国語(1人)	教授者 3人	●物の数え方、数量の言い方・2 前回の続き。期間の言い方の学習・日常生活に役立つ期間を尋ねる・金額を尋ねる・重量を尋ねる会話表現をタスクで練習、定着させる。 ●震災の情報の難しい日本語をわかりやすく説明情報提供(別紙・仙台空港・アクセス鉄道再開について ※中国語、韓国語にて翻訳)
⑨	平成23年 11月18日 10:00～ 12:00	2時間	9人	韓国・韓国語(8人) 中国・中国語(0人) ブラジル・ポルトガル語(0人) 台湾・中国語(1人)	教授者 3人	●い形・な形の過去形の学習 い形・な形の復習後イラストやレアリアを用いて今と昔を比べさせ、「～かった」「～くなかった」等、過去形の導入。文字カードを使って形の練習。会話練習。タスク《過去の出来事や経験について簡単な感想や印象を書き、発表》 ●震災の情報の難しい日本語をわかりやすく説明情報提供(別紙・石巻市夜間急患センター診療再開※

						中国語、韓国語にて翻訳)
⑩	平成 23 年 11 月 25 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	8 人	韓国・韓国語 (7 人) 中国・中国語 (0 人) ブラジル・ポルト ガル語 (0 人) 台湾・中国語 (1 人)	教授者 3 人	●い形・な形を用いた比較の言い方 前回の続き。 ～と～と、どちらが《い形・な形》 ですか。～の中でいちばん《い形・ な形》です・・・の言い方を学習。 自分で身近なものや自国と日本な どに関して比較の言い方を書きの 練習と発表。 ●被災地の暮らしに関する情報 提・・・各種支援制度のお知らせ等 に記載されている漢字の読みと意 味を学習。生活に役立つ言葉の学 習。
⑪	平成 23 年 12 月 2 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	9 人	韓国・韓国語 (7 人) 中国・中国語 (1 人) ブラジル・ポルト ガル語 (0 人) 台湾・中国語 (1 人)	教授者 3 人	●手に入れたと思うもの(物・人。 時間)やしたいことの言い方 「わたしは～がほしいです」の例を 写真やイラストで示し、意味と使い 方の導入、形の練習、タスク《自分 のほしいものを書かせて発表》 ●年末が近づき正月の準備の仕方、 特に今年は震災により、例年の正月 とは違う形式をとる雰囲気地域 の中にあるため、それに対応した年 末年始のあいさつと、年賀状の書き 方の学習。
⑫	平成 23 年 12 月 6 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	7 人	韓国・韓国語 (6 人) 中国・中国語 (1 人) ブラジル・ポルト ガル語 (0 人) 台湾・中国語 (0 人)	教授者 3 人	●移動の目的を伝える ～へ～に行きます/来ますの文型を 学習者に週末の予定など質問しな がら目的と移動がわかりやすい題 材をもとに導入、形の練習、タスク 《先週何をしにどこへ行ったか等 書かせて発表》 ●被災地の暮らしに関する情報提 供(別紙・インフルエンザ予防接種 ※中国語、韓国語にて翻訳)

						各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
⑬	平成 23 年 12 月 9 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	10 人	韓国・韓国語 (8 人) 中国・中国語 (1 人) ブラジル・ポルト ガル語 (0 人) 台湾・中国語 (1 人)	教授者 3 人	●て形を学んで簡単な依頼・指示・の学習 「～てください」の形からジェスチャー等で理解させ導入後、動詞のグループ別にて形のフォームを学習。て形の歌等でなじみやすい工夫。 ●生活のことば《年末年始の来客時のマナー、訪問時のマナーと会話表現》 年末年始の過ごし方 2 回目。文化の違いを理解しながら、来客時、失礼のない日本語で対応する表現とマナーを場面設定をし、練習。特に今年は震災により、例年の正月とは違う形式をとる雰囲気地域の中にあるため、それに対応した年末年始の過ごし方を一緒に考える。
⑭	平成 23 年 12 月 16 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	10 人	韓国・韓国語 (8 人) 中国・中国語 (1 人) ブラジル・ポルト ガル語 (0 人) 台湾・中国語 (1 人)	教授者 3 人	●て形を学んで簡単な依頼・指示・の学習 2 前回同様て形のフォームの復習と定着をはかる。 ●被災地の暮らしに関する情報提供 (別紙・宮城県最低賃金改正について※中国語、韓国語にて翻訳) ・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
⑮	平成 23 年 12 月 20 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	10 人	韓国・韓国語 (8 人) 中国・中国語 (1 人) ブラジル・ポルト ガル語 (0 人) 台湾・中国語 (1 人)	教授者 3 人	●て形を用いて許可を求める表現の学習 「～てもいいです」イラストやジェスチャーで文型を理解させ、導入。身近な題材で会話練習。「～てもいいですか」に対する許可の場合と許

						可しない場合の言い方も学習。 ●被災地の暮らしに関する情報提供(別紙・中古車購入トラブルについて※中国語、韓国語にて翻訳) ・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
①⑥	平成 24 年 1 月 13 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	9 人	韓国・韓国語(7 人) 中国・中国語(1 人) ブラジル・ポルトガル語(0 人) 台湾・中国語(1 人)	教授者 3 人	●て形を用いて禁止されていることの表現の学習 「～てはいけません」禁止されている事柄のイラストを見せ導入。学習者にイラストを見せながら自分でて形を用いて禁止の表現を考え発表させる。積極的に形の練習ができるよう、様々な場面のイラストを使用、発話できる機会を与え、定着させる。 ●被災地の暮らしに関する情報提供(別紙・各種検診申込みについて※中国語、韓国語にて翻訳) ・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
①⑦	平成 24 年 1 月 17 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	10 人	韓国・韓国語(8 人) 中国・中国語(2 人) ブラジル・ポルトガル語(0 人) 台湾・中国語(0 人)	教授者 3 人	●日常生活を順を追って話す表現の学習 「～て、～て、～」 自分の日常生活(例・今日この教室に来るまでの行動)を書いてもらう。2つ以上の動作を継起順に、て形を用いて再度書いてもらう。テキストで定着するまで練習。 ・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
①⑧	平成 24 年 1 月 20 日 10 : 00 ~	2 時間	10 人	韓国・韓国語(8 人) 中国・中国語(2 人) ブラジル・ポルト	教授者 3 人	●人や物、場所などについて説明する表現の学習 「～くて～/～で～」い形・な形等 2 文をつないで人や物

	12 : 00 13 : 00 ~ 14 : 00			ガル語(0人) 台湾・中国語(0人)		について説明する。テキストで練習問題をしながら、身の回りにあるものの説明を書き、発表。 ●～～特別授業～～ 宮城学院女子大学の先生による日本文化と習慣を学ぶ
①9	平成 24 年 1 月 24 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	10 人	韓国・韓国語(8人) 中国・中国語(2人) ブラジル・ポルトガル語(0人) 台湾・中国語(0人)	教授者 3人	●規則、禁止の表現の学習 「～ないでください」「～なければなりません」 会社や組織に入った際のルールを理解する表現を学習。身近な場面設定で導入後、学習者が会社の上司や警備員、駅員などになり、注意を与え、表現の定着をはかる。 ●被災地の暮らしに関する情報提供(別紙・宮城県知事のことば「ふるさと宮城の再生に向けて」※中国語、韓国語にて翻訳) ・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
20	平成 24 年 1 月 27 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	10 人	韓国・韓国語(7人) 中国・中国語(1人) ブラジル・ポルトガル語(1人) 台湾・中国語(1人)	教授者 3人	●しなければならないこと、しなくてもいいことの表現の学習 前回の《＜ない形＞》の復習、イラストやレアリアを使用し場面設定(例・喫茶店、イス、机)をし、支払わなくてもいいです～などをやりとりによって理解させ導入。テキスト練習。 ●被災地の暮らしに関する情報提供(別紙・地上デジタル放送移行のための支援について※中国語、韓国語にて翻訳) ・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。

21	平成 24 年 2 月 3 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	10 人	韓国・韓国語 (8 人) 中国・中国語 (2 人) ブラジル・ポルトガル語 (0 人) 台湾・中国語 (0 人)	教授者 3 人	●できること、できないことの能力を言う表現の学習 「できます/できません」の言い方を学習。講師が得意なことを披露し、できますを理解をさせる。不得意も同様。テキストで練習後、各人の得意なこと、不得意なことを学習した表現を使って発表。 ●被災地の暮らしに関する情報提供 (別紙・ゴミ出しルールについて ※中国語、韓国語にて翻訳) ・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
22	平成 24 年 2 月 10 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	9 人	韓国・韓国語 (8 人) 中国・中国語 (1 人) ブラジル・ポルトガル語 (0 人) 台湾・中国語 (0 人)	教授者 3 人	●自分が経験したことを言う表現の学習 「～たことがあります」世界地図や写真を用いて導入。過去の経験を現在の時点で述べる時 (た形+ことがあります) を用いることを理解させる。テキストで練習後、各自経験したことを考え書きの練習と発表。 ●被災地の暮らしに関する情報提供 (別紙・被災者支援特別行政相談所開設について ※中国語、韓国語にて翻訳) ・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
23	平成 24 年 2 月 17 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	6 人	韓国・韓国語 (4 人) 中国・中国語 (2 人) ブラジル・ポルトガル語 (0 人) 台湾・中国語 (0 人)	教授者 3 人	●丁寧なことばと普通のことば～話し手によって会話のスタイルが変わることを紹介。友達同士の設定で普通体の会話を練習し、発表。また、目上の人、仕事の先輩、上司への言葉の使い分けを学習。 ●被災地の暮らしに関する情報提

						供・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
24	平成 24 年 2 月 24 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	6 人	韓国・韓国語 (5 人) 中国・中国語 (1 人) ブラジル・ポルトガル語 (0 人) 台湾・中国語 (0 人)	教授者 3 人	●丁寧なことばと普通のことば 家族との会話、近所の人との会話、職場での会話、場所や話し手によって会話やスタイルが変わることの学習第 2 段。ここでは失礼にならない、日本の文化習慣の中で失敗しないコミュニケーションの取り方を場面設定をしながら楽しく学習。 ●被災地の暮らしに関する情報提供 (別紙・震災お助け専門家相談開催について※中国語、韓国語にて翻訳) ・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
25	平成 24 年 2 月 28 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	8 人	韓国・韓国語 (6 人) 中国・中国語 (2 人) ブラジル・ポルトガル語 (0 人) 台湾・中国語 (0 人)	教授者 3 人	●自分の意見や感想を言う表現の学習 《普通形》としたいと思いますの導入と練習と発表。前回学習した普通形の作り方の復習。明日の天気等を題材に導入、テキストで練習。クラスアクティビティにより楽しく学習して定着をはかる。 ●被災地の暮らしに関する情報提供・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
26	平成 24 年 3 月 2 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	10 人	韓国・韓国語 (8 人) 中国・中国語 (2 人) ブラジル・ポルトガル語 (0 人)	教授者 3 人	●ひとや物をもっとくわしく説明する表現を学習 「～は～が～です」地域の文化や習慣を紹介しながら導入。自国との違

				台湾・中国語(0人)		いを学習した文型を使って書きの練習をし、発表。 ●被災地の暮らしに関する情報提供(別紙・所得税の確定申告の受付について※中国語、韓国語にて翻訳) ・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
27	平成24年 3月9日 10:00～ 12:00	2時間	10人	韓国・韓国語(7人) 中国・中国語(1人) ブラジル・ポルトガル語(1人) 台湾・中国語(1人)	教授者 3人	●簡単な機械の使い方を言う表現を学習 「～とき/～すると～」レアリア、CD プレーヤーや機械物を見せて説明しながら導入。テキスト練習。口慣らし練習。 ●地域のことば《方言》の学習～誤解のないコミュニケーションの取り方を学習。地域独特の方言やなまりを学習しながら勘違いや誤解をされない表現を学習。
28	平成24年 3月13日 10:00～ 12:00	2時間	10人	韓国・韓国語(7人) 中国・中国語(1人) ブラジル・ポルトガル語(1人) 台湾・中国語(1人)	教授者 3人	●他の人から受けた親切や行為を言う表現の学習 「～てもらいます」「～てくれます」身近な題材で導入。学習者を巻き込み、ちょっとペンを借りる等いろいろな場面設定により「～さんはわたしに～てくれました」を理解させる。テキストで練習後、自分が他のひとから受けた親切な行為の書きの練習、発表。 ●被災地の暮らしに関する情報提供(別紙・石巻税務署からのお知らせ※中国語、韓国語にて翻訳) ・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。

29	平成 24 年 3 月 16 日 10 : 00 ~ 12 : 00 13 : 00 ~ 14 : 00	2 時間	10 人	韓国・韓国語 (7 人) 中国・中国語 (1 人) ブラジル・ポルト ガル語 (1 人) 台湾・中国語 (1 人)	教授者 3 人	●《～たら》《～ても》の学習 イラストや場面設定により導入。 「雨がふったら」「雨がふっても」 等使い方を理解させテキストにて 練習。 ●～特別授業～ 宮城女子学院大学の先生による日 本語講座()について)
30	平成 24 年 3 月 23 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	10 人	韓国・韓国語 (8 人) 中国・中国語 (1 人) ブラジル・ポルト ガル語 (0 人) 台湾・中国語 (1 人)	教授者 3 人	●地域の人々と協力しあい、パワフ ルに生きるためのコミュニケーシ ョン能力をアップする表現の学習。 作文を書く・・・ 地域に溶け込むためのコミュニケ ーションの取り方、誤解のない、失 礼のない言葉遣いを再度学習。地域 の中で日本人と協力しながらパワ フルに生きていくためのコミュニ ケーション能力をアップさせるこ とばの表現の学習。講座最終日のた め、今まで学習した文型を使い作文 を書き、発表。

⑧ 特徴的な授業風景(2～3回分)

学習日:2月17日(金)10:00～12:00

授業のテーマ《丁寧なことばと普通のことば》《被災地の暮らしに関する情報提供》

使用教材:みんなの日本語、みんなの日本語絵カード、講師オリジナルイラスト教材

①学習内容:《丁寧なことばと普通のことば・・・みんなの日本語 20 課》

※話し手によって会話のスタイルが変わることを紹介。

はじめに友達同士の設定で普通体の会話を練習。次に、目上の人、仕事の先輩、上司、同僚への言葉の使い分けを学習。

丁寧なことばの使い方をテキストにて練習。特に職場の上司や先輩、来客に対する使用頻度が高い日本語の表現に重点をおいて学習。(初級者でもわかりやすい、よく聞く「いらっしゃいます」「どうぞ召し上がってください」「ご覧ください」「お待たせいたしました」「かしこまりました」等、少しレベルをあげて敬語にも触れた。)

また、日本の文化の内と外との関係を重視する点を紹介し、それによって外に対しての身内の呼び方、自社の職場の人の呼び方を変えることも学習し、円滑に日常生活や社会生活を営めるよう学習した。

②《被災地の暮らしに関する情報提供》

※各種支援制度や、お知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。

生活に役立つことばの学習



学習日:2月28日(金)10:00~12:00

授業のテーマ《「普通形」と思います・・・みんなの日本語 21 課》

《被災地の暮らしに関する情報提供》

使用教材：みんなの日本語、みんなの日本語絵カード、講師オリジナルイラスト、フラッシュカード

① 学習内容：《「普通形」と思います・・・みんなの日本語 21 課》

※自分の意見や感想を言う表現の学習

「V/い adj と思います・N/な adj だと思います」

前回学習した普通形の作り方を復習(フラッシュカード使用)、

明日の天気等を題材に導入(明日は雪が降ると思います/降らないと思います)。

テキストにて練習。

クラスアクティビティ(学習者を一列に並ばせ、前の人の中に文字や簡単な絵を書き、先頭の学習が「～だと思います」を使用し答えを当てる)により楽しく学習。

②《被災地の暮らしに関する情報提供》

震災により自宅の被害が一部損壊の市民に対しての支援制度が改正になったことへのお知らせ。申請方法の案内。



被災地の暮らしに関する情報提供・授業風景・特別授業(宮城女子学院大学の先生による日本語講座)

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

開催当初は人前で日本語を話すことに消極的だった学習者は、参加するたびに日本語での発話が増え積極的に話すようになり、コミュニケーション能力が向上したと思われる。また、地域の様々な復興支援のボランティア活動(応急仮設住宅にて、地域住民の方への傾聴活動、癒しの音楽会の世話役、クリスマス会の準備)に参加し、地域住民との交流も積極的に行い多文化共生につなげることができたと思われる。

② 学習者の習得状況

学習者のほとんどが日本人の配偶者のため、家族との会話が中心で、家族だけで通じる表現を長く使用している場合もあり、生活に必要な基本の文法でも定着しておらず、学習してはじめて自分の間違いに気づくことが多かった。その都度学習者は、はじめてわかった！と感激し学習に大変意欲的になった。聴く、話す、ことは得意だが、読む、特に書くことが苦手な学習者が多く漢字を覚えたい希望もあり、漢字学習も毎回取り入れた。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

日本語教室で日本語と日本文化や習慣を学び、日本語を話すことに自信を持った学習者が、積極的に地域住民と交流を持つイベントや震災復興ボランティアに参加するようになった。対等な立場で地域社会に参加する多文化共生社会につなげる成果があった。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

日本語学習のみならず、災害弱者と言われる外国人のために、被災地の現状や石巻市や宮城県からの様々な情報を伝える場所として機能した。

教室に日本語学習に来た外国人が災害復興ボランティア活動にも参加するきっかけを作った。それにより外国人が多く地域住民と対等な関わりを持つことができた。

⑤ 改善点、今後の課題について

a. 現状

《日本語教室授業について》

○日本人講師が授業をすすめ、韓国人講師と中国人講師が通訳をしながら学習者のサポートを行う体制で始めたが、途中参加する学習者のサポートや漢字の苦手な非漢字圏の学習者のサポートをするなど、その時々で臨機応変に対応した。

《日本語教室運営について》

○開催当初は震災で一時帰国していた外国人が多く、また開催の通知の発送協力を市から得られない状況だったため、学習者の数が予想していたより少ないスタートだった。しかし授業をすすめる中で、学習者が新しい学習者を連れてきたり、ロコミのお陰で徐々に学習者が増加した。

学習者同士がわきあいあいとなった頃に、事業終了になってしまい、学習者からは、もっと勉強を続けたいという声をいただいた。

b. 今後の課題

《日本語教室授業について》

○被災地支援の情報提供の中で、専門的なことばの翻訳通訳は母国語での説明はおおいに役立ったが、日本人講師がメインとなって授業をすすめる中では、通訳が入ると、授業が中断したり、日本語で考えて発話する機会が少なくなり、良い授業を行うには支障が出るのがたびたびあった。

《日本語教室運営について》

○地域に住む定住外国人に、生活で役立つ日本語を学習する日本語教室としての機能だけではなく、外国人に被災地の様々な情報をわかりやすく提供し、自分の生活に役にたつ日本語教室を開催していることを、もっと周知する必要がある。

c. 今後の活動予定, 展望

○日本語教室や災害支援の情報提供のほか、震災により地域全体の防災意識が高まっている状況のため、消防署と連携して日本語教室に参加している外国人に対して、救命措置や AED の使い方の講習会を開催したい。

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営(中級Ⅱ)】

受託団体名 NPO 法人国際支援地球村

1 事業の趣旨・目的

日常生活に必要な日本語を習得した外国人が、より安定した社会生活(運転免許取得、就職等)ができるように、漢字学習、ビジネスマナー、上下関係のことばの表現、方言等を学習に盛り込み、地域社会に溶け込みやすい学習内容で日本語能力の向上をめざす。(目標・日本語能力検定試験 N3 合格)

また、日本語能力に自信がついた学習者が、地域の交流の場やボランティアにも積極的に参加することで、多文化共生につなげる。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
H23 年 9 月 17 日	ハヨンコリア 蛇田教室	斉藤美和子 木村正樹 李 東勲 梶原 美佳	日本語教室開催	・受講生の募集方法 ・開催日程 ・使用教科書、教材 ・学習項目 ・質疑応答 ・意見交換

【写真】



3 日本語教室の開催について

⑳ 講座名 パワフル日本語教室(中級Ⅱ)

㉑ 開催場所 (株)ハヨンコリア蛇田教室内

㉒ 学習目標 日常生活をより安定した社会生活(運転免許取得、就職)ができるように、日本語能力の向上をめざす。(日本語能力検定試験 N3 合格)

㉓ 使用した教材・リソース 日本語能力検定対策日本語総まとめ N3 語彙、文法、読解
パターン別徹底ドリル N3、予想問題集 N3、市報、県政だより
講師オリジナル教材

㉔ 受講者の募集方法

・チラシ《市役所市民ホール、石巻市内スーパーマーケット、石巻市内応急仮設集会所、東松島市応急仮設集会所、民間スポーツジム》

・電話連絡《つながりのある市内および近隣自治体在住の定住外国人に直接連絡》

・口コミ

・ラジオ放送《地元ラジオ放送局・ラジオいしのまきの番組で多言語放送》

㉕ 受講者の総数 10 人 (延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

(出身・国籍別内訳 中国 4 名、韓国 4 名、フィリピン 2 名)

㉖ 開催時間数(回数) 60 時間 (全 30 回)

㉗ 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語 (人)	教授者・補助者人数	内容
⑨	平成 23 年 10 月 14 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	5 人	韓国・韓国語 (2 人) 中国・中国語 (2 人) フィリピン・タガログ語(1 人)	教授者 1 人	●初級、中級に分けるため、各自の読み書きレベルチェックと、どんな日本語(例・生活の言葉・仕事の言葉)を学びたいか希望を聞きクラス分け。 ●自己紹介
⑩	平成 23 年 10 月 18 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	5 人	韓国・韓国語 (2 人) 中国・中国語 (2 人) フィリピン・タガログ語(1 人)	教授者 1 人	●いろいろなトピックで語彙を学習《家事で必要な語彙・テキストを使用し語彙力アップさせる》 ●被災地の暮らしに関する情報提供(別紙・被災者生活再建支援制度について)

						各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
⑪	平成 23 年 10 月 21 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	8 人	韓国・韓国語 (6 人) 中国・中国語 (2 人) フィリピン・タガログ語(0 人)	教授者 1 人	●いろいろな文法(文型や接続表現)を学習《受け身》テキストを使用し意味と使い方を理解させる。練習問題。 ●被災地の暮らしに関する情報提供(別紙・生活復興支援資金について) 各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
⑫	平成 23 年 10 月 25 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	6 人	韓国・韓国語 (3 人) 中国・中国語 (2 人) フィリピン・タガログ語(1 人)	教授者 1 人	●よく見る表示や文書の漢字を学習《道路や駅のホームで使われている漢字》テキストを使用し意味を理解、書きの練習 ●被災地の暮らしに関する情報提供(別紙・節水の協力をお願い) 各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
⑬	平成 23 年 10 月 28 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	6 人	韓国・韓国語 (3 人) 中国・中国語 (2 人) フィリピン・タガログ語(1 人)	教授者 1 人	●読解《お知らせや案内を読む》テキスト使用し、接続表現、指示語などのポイントに注意しながら読解練習をする。 ●被災地の暮らしに関する情報提供(別紙・震災関連の悪徳商法に注意) 各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。

⑭	平成 23 年 11 月 4 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	7 人	韓国・韓国語 (3 人) 中国・中国語 (3 人) フィリピン・タガログ語(1 人)	教授者 1 人	●いろいろなトピックで語彙を学習 《外出するときに必要な語彙・テキストを使用し語彙力アップさせる》 職場でのあいさつやマナー等、目上の人、先輩や上司に対する言葉づかいを場面設定をし、コミュニケーション能力をアップする表現を学習する。 ●震災の情報の難しい日本語をわかりやすく説明情報提供(別紙・母子家庭等就職セミナーのお知らせ)
⑮	平成 23 年 11 月 8 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	7 人	韓国・韓国語 (4 人) 中国・中国語 (3 人) フィリピン・タガログ語(0 人)	教授者 1 人	いろいろな文法(文型や接続表現)を学習《使役他》 テキストを使用して使い方を覚える。練習問題。 ●職場でのあいさつやマナー等、目上の人、先輩や上司に対する言葉づかいを場面設定をし、コミュニケーション能力をアップする表現を学習する。 ●震災の情報の難しい日本語をわかりやすく説明情報提供(別紙・東北文化市について
⑯	平成 23 年 11 月 11 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	5 人	韓国・韓国語 (4 人) 中国・中国語 (1 人) フィリピン・タガログ語(0 人)	教授者 1 人	よく見る表示や文書の漢字を学習 《病院・観光地図・街の地図で使われている漢字》テキスト使用し意味を理解し読みと書きの練習。 職場でのあいさつやマナー等、目上の人、先輩や上司に対する言葉づかいを場面設定をし、コミュニケーション能力をアップする表現を学習する。 ●震災の情報の難しい日本語をわかりやすく説明情報提供(別紙・仙台空港・アクセス鉄道再開につい

						て)
28	平成 23 年 11 月 18 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	7 人	韓国・韓国語 (4 人) 中国・中国語 (3 人) フィリピン・タガログ語(0 人)	教授者 1 人	●読解《お知らせや案内を読む2》 テキスト使用し、接続表現、指示語などのポイントに注意しながら読解練習をする。 ●被災地の暮らしに関する情報提供(別紙・石巻市夜間急患センター診療再開) 各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
29	平成 23 年 11 月 25 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	7 人	韓国・韓国語 (4 人) 中国・中国語 (3 人) フィリピン・タガログ語(0 人)	教授者 1 人	●聴解《CD を聞いて N3 の問題にチャレンジその後答え合わせとポイント理解》 ●被災地の暮らしに関する情報提供・・・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
30	平成 23 年 12 月 2 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	6 人	韓国・韓国語 (4 人) 中国・中国語 (2 人) フィリピン・タガログ語(0 人)	教授者 1 人	●いろいろなトピックで語彙を学習《買い物や食事、支払のときに必要な語彙・テキストを使用し語彙力アップさせる》 ●年末が近づき正月の準備の仕方、特に今年は震災により、例年の正月とは違う形式をとる雰囲気や地域の中にあるため、それに対応した年末年始のあいさつと、年賀状の書き方の学習。実際に年賀状を書いてみる。またメールでの年始のあいさつ文の学習。
31	平成 23 年 12 月 6 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	5 人	韓国・韓国語 (3 人) 中国・中国語 (2 人)	教授者 1 人	●いろいろな文法(文型や接続表現)を学習《尊敬語・謙譲語》テキストを使用し意味と使い方を理解させる。練習問題。

				フィリピン・タガログ語 0(人)		●被災地の暮らしに関する情報提供(別紙・インフルエンザ予防接種等) 各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
32	平成 23 年 12 月 9 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	6 人	韓国・韓国語 (4 人) 中国・中国語 (2 人) フィリピン・タガログ語 0(人)	教授者 1 人	よく見る表示や文書の漢字を学習 ≪携帯電話、通信販売、申込書で使われている漢字≫テキストを使用し意味を理解、書きの練習。 ●生活に役立つ言葉の学習。生活のことば≪年末年始の来客時のマナー、訪問時のマナーと会話表現≫年末年始の過ごし方 2 回目。文化の違いを理解しながら、来客時、失礼のない日本語で対応する表現とマナーを場面設定をし、練習。特に今年は震災により、例年の正月とは違う形式をとる雰囲気地域の中にあるため、それに対応した年末年始の過ごし方を一緒に考える。
33	平成 23 年 12 月 16 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	6 人	韓国・韓国語 (3 人) 中国・中国語 (3 人) フィリピン・タガログ語 0(人)	教授者 1 人	●読解≪身の回りの文書を読む≫テキスト使用し、接続表現、指示語などのポイントに注意しながら読解練習をする。 ●被災地の暮らしに関する情報提供(別紙・宮城県最低賃金改正について) ・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
34	平成 23 年 12 月 20 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	4 人	韓国・韓国語 (2 人) 中国・中国語 (2 人) フィリピン・タガログ語 0(人)	教授者 1 人	●聴解≪CD を聞いて N3 の問題にチャレンジその後答え合わせとポイント理解≫ ●被災地の暮らしに関する情報提供(別紙・中古車購入トラブルにつ

				が語(0人)		いて) ・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
35	平成 24 年 1 月 13 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	6 人	韓国・韓国語 (3 人) 中国・中国語 (3 人) フィリピン・タガログ語(0人)	教授者 1 人	●いろいろなトピックで語彙を学習《仕事に必要な語彙・テキストを使用し語彙力アップさせる》 ●被災地の暮らしに関する情報提供(別紙・各種検診申込みについて) ・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
36	平成 24 年 1 月 17 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	4 人	韓国・韓国語 (3 人) 中国・中国語 (1 人) フィリピン・タガログ語(人)	教授者 1 人	●いろいろな文法(文型や接続表現)を学習《受け身》テキストを使用し意味と使い方を理解させる。練習問題。 ●被災地の暮らしに関する情報提供 ・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
37	平成 24 年 1 月 20 日 10 : 00 ~ 12 : 00 13 : 00 ~ 14 : 00	2 時間	5 人	韓国・韓国語 (4 人) 中国・中国語 (1 人) フィリピン・タガログ語(0人)	教授者 1 人	●よく見る表示や文書の漢字を学習《問診票・健康診断で使われている漢字》テキストを使用し意味を理解、読みの練習。 ●被災地の暮らしに関する情報提供・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。 ●特別授業 日本文学科准教授 沢辺裕子先生 による特別授業 ・日本文化と習慣を学ぶ
38	平成 24 年 1 月 24 日 10 : 00 ~	2 時間	5 人	韓国・韓国語 (4 人) 中国・中国語	教授者 1 人	●読解《通信文(メール・手紙・はがき)を読む》テキスト使用し、接続表現、指示語などのポイントに注

	12 : 00			(1 人) フィリピン・タガログ語(0 人)		意しながら読解練習をする。 ●被災地の暮らしに関する情報提供・記載されている漢字の読みと意味を学習しながら記事を読む。
20	平成 24 年 1 月 27 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	6 人	韓国・韓国語 (4 人) 中国・中国語 (2 人) フィリピン・タガログ語(0 人)	教授者 1 人	●聴解《CD を聞いて N3 の問題にチャレンジその後答え合わせとポイント理解》 ●被災地の暮らしに関する情報提供(別紙・地上デジタル放送移行のための支援について) ・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
21	平成 24 年 2 月 3 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	3 人	韓国・韓国語 (3 人) 中国・中国語 (0 人) フィリピン・タガログ語(0 人)	教授者 1 人	●いろいろなトピックで語彙を学習《仕事で必要な語彙 2・テキストを使用し語彙力アップさせる》 ●被災地の暮らしに関する情報提供(別紙・ゴミ出しルールについて) ・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
22	平成 24 年 2 月 10 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	5 人	韓国・韓国語 (4 人) 中国・中国語 (1 人) フィリピン・タガログ語(0 人)	教授者 1 人	●いろいろな文法(文型や接続表現)を学習《尊敬語・謙譲語 2》テキストを使用し意味と使い方を理解させる。練習問題。 ●被災地の暮らしに関する情報提供(別紙・被災者支援特別行政相談所開設について) ・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
23	平成 24 年 2 月 17 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	5 人	韓国・韓国語 (4 人) 中国・中国語 (1 人) フィリピン・タガログ語(0 人)	教授者 1 人	●よく見る表示や文書の漢字を学習《求人広告・天気予報で使われている漢字》テキストを使用し意味を理解、読みの練習。 ●被災地の暮らしに関する情報提供

	13 : 00～ 14 : 00			が語 0 (人)		供・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
24	平成 24 年 2 月 24 日 10 : 00 ～ 12 : 00	2 時間	7 人	韓国・韓国語 (4 人) 中国・中国語 (3 人) フィリピン・タガログ語 (0 人)	教授者 1 人	●読解《通信文(説明書・FAX ビジネスレター)を読む》テキスト使用し、接続表現、指示語などのポイントに注意しながら読解練習をする。 ●被災地の暮らしに関する情報提供(別紙・震災お助け専門家相談開催について) ・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
25	平成 24 年 2 月 28 日 10 : 00 ～ 12 : 00	2 時間	7 人	韓国・韓国語 (4 人) 中国・中国語 (3 人) フィリピン・タガログ語 (0 人)	教授者 1 人	●聴解《CD を聞いて N3 の問題にチャレンジその後答え合わせとポイント理解》 ●被災地の暮らしに関する情報提供 ・各地で行われる震災から 1 年の慰霊祭や各イベントのお知らせ、生活に役立つ言葉の学習。
26	平成 24 年 3 月 2 日 10 : 00 ～ 12 : 00	2 時間	7 人	韓国・韓国語 (4 人) 中国・中国語 (3 人) フィリピン・タガログ語 (0 人)	教授者 1 人	●いろいろなトピックで語彙を学習《メールやパソコンで必要な語彙・テキストを使用し語彙力アップさせる》 ●被災地の暮らしに関する情報提供(別紙・所得税の確定申告の受付について) ・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
27	平成 24 年 3 月 9 日 10 : 00 ～ 12 : 00	2 時間	7 人	韓国・韓国語 (4 人) 中国・中国語 (3 人) フィリピン・タガログ語 (0 人)	教授者 1 人	●いろいろな文法(文型や接続表現)を学習《ビジネス表現》テキストを使用し意味と使い方を理解させる。練習問題。 ●被災地の暮らしに関する情報提供

				が語(0人)		供・・・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。 ●地域のことば《方言》の学習～誤解のないコミュニケーションの取り方を学習。地域独特の方言やなまりを学習しながら勘違いや誤解をされない表現を学習。
28	平成 24 年 3 月 13 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	8 人	韓国・韓国語 (4人) 中国・中国語 (4人) フィリピン・タガログ語(0人)	教授者 1 人	●よく見る表示や文書の漢字を学習《履歴書を記入する際よく使われている漢字》テキストを使用し意味を理解、書きの練習。 ●被災地の暮らしに関する情報提供(別紙・石巻税務署からのお知らせ)・記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。
29	平成 24 年 3 月 16 日 10 : 00 ~ 12 : 00 13 : 00 ~ 14 : 00	2 時間	6 人	韓国・韓国語 (4人) 中国・中国語 (2人) フィリピン・タガログ語(0人)	教授者 1 人	●読解《新聞を読む》テキスト使用し、接続表現、指示語などのポイントに注意しながら読解練習をする。 ●被災地の暮らしに関する情報提供・・・各種支援制度のお知らせ等に記載されている漢字の読みと意味を学習。生活に役立つ言葉の学習。 ●特別授業 日本文学科准教授 沢辺裕子先生
30	平成 24 年 3 月 23 日 10 : 00 ~ 12 : 00	2 時間	8 人	韓国・韓国語 (4人) 中国・中国語 (4人) フィリピン・タガログ語(0人)	教授者 1 人	●聴解《CD を聞いて N3 の問題にチャレンジその後答え合わせとポイント理解》 ●地域に溶け込むためのコミュニケーションの取り方、誤解のない、失礼のない言葉遣いを再度学習。地域の中で日本人と協力しながらパ

						ワフルに生きていくためのコミュニケーション能力をアップさせることばの表現の学習。 講座最終日のため、今まで学習した文型を使い作文を書き、発表。
--	--	--	--	--	--	---

⑰ 特徴的な授業風景(2～3回分)



授業風景 ・ 特別授業(宮城女子学院大学院性による日本語講座)

学習日:10月21日(金)10:00～12:00

授業のテーマ《受身(迷惑な表現の受身の学習)》

《被災地の暮らしに関する情報提供》

使用教材：日本語能力試験対策日本語総まとめN3文法、講師オリジナル教材、市報、みやぎ県政だより

① 学習内容：《受身(迷惑な表現の受身の学習)》

※わたしは[人]に [N] をV《受身》

家の中に泥棒がいるイラストを見せる。

これは私の家です。この人は誰ですかと質問し、サングラスをかけた黒い服装の男を泥棒であることを理解させ、イラストを見ながら泥棒が家で何をしたのか発表させた。

- ・泥棒はわたしのかばんをとりました。
- ・泥棒はメロンを食べました。
- ・泥棒はわたしの家のドアをこわしました
- ・泥棒は酒を飲みました。

泥棒はわたしのお金をとりました。

ボードに板書した文に注目させ、泥棒に入られた気持ちを考えさせた。

Q どんな気持ちですか・・・(嫌だ、困る)

この状況を受身を使って表現することを理解させ、受身の作り方のルールを説明。

口慣らし、テキストにて練習。

被災地ならではの身近でよく聞く話題を提供し受身の定着をはかった。

《津波にながさいだ》・・・津波に流されたの方言

《津波にこわさいだ》・・・津波に壊されたの方言

今まではっきりわからなかったが、やっと地域の人が言っている意味がわかりました～と納得した様子。

また、この地域でよく使う 食べられた/食べらいだ とられた/とらいだ かまれた/かまいだ のまいだ、くわいだ等学習。

学習日:12月9日(金)10:00～12:00

授業のテーマ《よく見る表示や文書の漢字の学習》

《年末年始の来客時のマナー、訪問時のマナーと会話表現》

使用教材：日本語能力試験対策日本語総まとめN3文法、講師オリジナル教材、市報、みやぎ県政だより

- ① 学習内容：《よく見る表示や文書の漢字の学習：携帯電話、通信販売、申込みで使われている漢字》

テキストを使用し、意味を理解、書きの練習。

- ② 《年末年始の来客時のマナー、訪問時のマナーと会話表現》

文化の違いを理解し失礼のない日本語で応対する表現とマナーを、場面設定し練習を行った。特に震災により例年の正月とは違う形式を取る雰囲気があるため、それに対応した年末年始の過ごし方を皆で考えた。「今年身内で誰か亡くなった家のひとは、お正月を静かに過ごします。玄関に飾り物をしたり、派手なことをしません。しかし、今回は身内で誰も亡くならない家のひとなちも近所でたくさん人が亡くなっていますから、遠慮の気持ちがあります。皆さんの家は、玄関に飾り物をしますか。しませんか。」等、学習者同士それぞれ意見を出し合った。地域全体で静かに過ごす雰囲気もあるので、仮設住宅に住んでいる人は特に周りを見て、それに合わせることも大切であると説明を加えた。

4 事業に対する評価について

- ① 当初の学習目標の達成状況

今回は震災の様々な影響により日本語能力試験を受験する学習者はいなかったが、震災により仕事や家を失った学習者に対して、被災者に向けた情報を、外国人にもわかりやすい日本語にして情報を提供し、被災地ならではの必要な日本語を学習したことにより、安定した社会生活ができたと思われる。

- ② 学習者の習得状況

日本に定住して年数は経つものの、家族との会話が中心の学習者が多く、社会や組織の中に入った際、気を付けなければならない言葉の表現、上下関係、親疎関係の言葉にふれる機会が少ない学習者が多く見受けられた。

今回は仕事で使う表現やマナー、家族以外の人との会話、来客応対、日本文化等を様々

なシチュエーションで会話を学習。同時に生活の中でよく見るよく使う漢字の読み書きの学習を取り入れた。地域の方言も学習し、積極的に地域社会へ参加したいという自信をつけさせる工夫をした。

③ 日本語教室設置運営の効果, 成果

- ・組織の中で働く際のマナーや、仕事で使う言葉の表現、来客応対、日本文化や習慣も学習することで会話力の上達で自信を持った学習者は、仕事を見つけた人もおり、より安定した社会生活をする手助けができた。
- ・日本語能力検定試験においては、震災の影響で、生活状況が一変した学習者が多かったため、受験しようという気持ちまで持っていくことは困難で、成果は得られなかった。

⑥ 地域の関係者との連携による効果, 成果 等

- ・石巻市と連携して外国人に日本語教室開催の通知を発送する予定だったが、震災の罹災被災事務優先のため協力を得ることができず、開催当初は学習者の数が予想していたより少なかった。
- ・日本語学習のみならず、災害弱者と言われる外国人のために、被災地の現状や様々な情報を伝える場所として機能した。
- ・教室に日本語学習に来た外国人が災害復興のボランティア活動にも参加するきっかけも作った。それにより外国人が多く地域住民と関わりを持ち、多文化共生につなげることができた。

⑦ 改善点, 今後の課題について

a 現状

《日本語教室授業について》

○勉強熱心な学習者は、新しいことばや文法を覚えることができ嬉しいが、日常生活で使うことが少なくすぐ忘れてしまう、授業が月 5 回では少ないと不満をもらす。

《日本語教室運営について》

○初級と同じで、開催当初は震災で一時帰国していた外国人が多く、また開催の通知の発送協力を市から得られない状況だったため、学習者の数が予想していたより少ないスタートだった。しかし授業をすすめる中で、学習者が新しい学習者を連れてきたり、口コミのお陰で徐々に学習者が増加した。

学習者同士がわきあいあいとなった頃に、事業終了になってしまい、学習者からは、もっと勉強を続けたいという声をいただいた。

b 今後の課題

《日本語教室授業について》

勉強熱心な学習者のために、一度学習した文法文型や語彙を忘れず定着させるた

めには授業日数を増やし、話す機会をつくる工夫が必要。

《日本語教室運営について》

○地域に住む定住外国人に、生活で役立つ日本語を学習する日本語教室としての機能だけではなく、外国人に被災地の様々な情報をわかりやすく提供し、自分の生活に役にたつ日本語教室を開催していることを、もっと周知する必要がある。

c今後の活動予定, 展望(初級・中級同じ)

○日本語教室や災害支援の情報提供のほか、震災により地域全体の防災意識が高まっている状況のため、消防署と連携して日本語教室に参加している外国人に対して、救命措置や AED の使い方の講習会を開催したい。